

サッカー部創立50周年 創立50周年式典を終えて



我が工体連サッカー部の50周年式典の開催は問題山積でした。近年のサッカー部OB会の問題点として、OB会行事への参加者の減少・固定化とOB会費の財政難が挙げられます。このような状況下で「一人でも多くの皆さんにご参加頂き、そして喜んで頂く」、「黒字確保の死守」という式典を開催するため、その準備委員会は約1年半前に立ち上げ、会議を繰り返し、また創部に携わったOBの方に当時のお話を伺ったりなど定期的に実行委員会の活動を繰り返しました。また、その会議には、現役の代表として3年生・4年生にも一人ずつ参加して貰っていました。この現役の役回りが当日含めた直前準備に大変役立ってくれました。

最大の課題である参加者集めには、SNSを活用した告知や、基本的な電話連絡等による参加者集めに奔走しました。実行委員長である私としては、一人でも多くの方にご参加頂くこと「20年以上もお会いしていない方」や「遠方にお住まいの方」に電話にて無理にご参加をお願いした事もありました。また元部長先生にご案内状をお出したところ、既に90歳を超えていらっしゃる自由とは言えないであろうお身体で、返信はがきにピシッとコメントを頂き、感激もしました。

そして当日、「無理に参加をお願いした方からも会場へ誘って来てありがとう」と言葉を頂き握手をした際、1年半の苦労も忘れ、このサッカー部の長い歴史に少しでもお役に立てたのかなと安堵もしました。

最後に、当日ご参加頂いたOBの方、また今回ご参加を頂けなかったOBの方、きっと喜んで頂けると思っていますので、今後の定期的なOB会活動にも参加して頂けるようお声掛けさせていただきます。

(文責 実行委員長

友野 雅之 '90)



当日、人工芝のグラウンドでミニゲーム!!

OB会 年間計画

4/14(火)	会報36号発行、第1回理事会	10/31(土)	工体連OBの集い(ホームカミングデー)(予定)
6/13(土)	工体連お祭り、第2回理事会	11/6(金)~11/8(日)	第23回全国卒業生の集い愛知大会
8/20(木)	第3回理事会	12/5(土)	工体連創立50周年記念式典
9/12(土)	工体連親睦ゴルフ大会	1/23(土)	オール法政新年を祝う会
10/15(木)	会報37号発行、第4回理事会	2/18(木)	第5回理事会

ワンダーフォーゲル部創立50周年 小金井キャンパスと共に



昨年、我ワンダーフォーゲル部は小金井キャンパスと共に創立50周年を迎えた。50周年を迎えるに当たり、「ワンゲルらしさと大勢のOBと共に祝いたい」と言う二つのコンセプトのもと準備を進めました。その一つとして、一昨年に現役とOBの合同隊で海外遠征を行う計画を立て、中国シャングリラ奥地の梅里雪山山系での高度訓練を兼ねたトレッキング、そして最終目標は標高5000mの王冠峰登頂という計画を立て、実施する事が出来ました。残念ながら王冠峰登頂へのチャレンジは、標高4900m付近で断念する事になり、当初の目的は果たせませんでした。メンバー全員大満足の中、無事に遠征を終え帰国する事が出来ました。

今回の遠征には、60歳超えの参加メンバーも多く、肉体的にはかなりハードで最後の最後・麗江では、おなかを壊す隊員続出と云うアクシデントもありましたが、皆満足して記念遠征を終える事が出来ました。

そして昨年10月12日小金井キャンパスにて、OB70名・学生25名・来賓の方々 20名の総勢115名の多くの方々を集っていただき、賑やかに創立50周年を祝う事が出来ました。

還暦を迎えるOBには、オレンジのダウンベストが贈呈され皆で祝福しました。また全国から集ったOBの皆様には、一言ずつ当時の思い出を語り頂き、懐かしくまた楽しい時間を過ごす事ができました。

第2部では学生の活動報告と部員紹介が、今時の学生らしい映像に纏められ紹介されました。

その後、前年度に実行された中国遠征の活動報告会へと進み、原口隊員の日程や計画コース概要の説明などを経て、動画とスライドによる詳細な活動報告が行われました。

最後に還暦の小林OBの音頭で校歌斉唱の後、声高々にエールを掛け、2年間に及び記念行事をすべて無事終える事が出来ました。OB達は大きく変貌した母校を後に、二次会場へと消えて行きました。



2013夏 記念中国遠征



法友工体連

■発行所：法政大学学友会工体連OB会 ■題字：青木 繁 ■発行人：松尾秀文 ■編集人：高津次朗・細淵祐二
■事務局：〒193-0834 東京都八王子市東浅川町288-8 (有)旦建築計画内 TEL.042-668-8965 FAX.042-668-8966

「スーパーグローバル大学に向けて」



総長
田中 優子

法政大学学友会工体連OB会発足35年を迎えられましたこと、誠にありがとうございます。1980年に工体連OB会の皆さまにおかれましては、今日に至るまで本学工体連の学生に対し、あたたかいご支援とご協力を賜り、改めてお礼申し上げます。

昨年度、本学は文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」グローバル化牽引型(タイプB)に採択されました。本学におけるスーパーグローバル大

学とは、学生が「世界のどこにいても生き抜く力」を身につけることのできる大学のことです。

本学で学ばれた学生が卒業後に入っていくこれからの現実社会で、地球上のどこで働くことになるか、勉学することになるか予想がつかません。どのような社会でも自由闊達に働くことのできる能力、あるいは学問をより深める能力を、十分に身につける必要があります。そのために本学では、学生が選んだ目標に従って外国語を学べるよう、また、海外への留学および海外からの留学生を支援し、留学生がキャンパスの中に増えて、交流しながら学生生活を送れるよう環境を整えます。

もっとも学生に伝えたいことは、世界の多様な価値観と歴史と思想に触れ、友人を作り、偏見の無い視野の広い人になってほしいということです。さらには、日本について自分の言葉で語り、人の話を深く理解し、堂々と議論できる能力を身につけてほしいと思います。スーパーグローバル大学は、その力

をつけるために、能動的な学習ができる仕組みを作っていきます。

また、大学は学術研究および教育の最高機関であり、学問を究めることが学生の本分ではありますが、人格形成において部活動が果たす役割は決して小さくありません。部活動を通して身に付けることができる忍耐力、集中力、そして切磋琢磨する仲間存在は、学業で得る知識と同じくらい学生の成長に必要なものです。

建学より本学における歴史や伝統の醸成には、平日頃の地道な練習はもとより、各種大会を通じた学生団体による部活動が大きく寄与してきたことは言うまでもありません。今後とも、工体連OB会の皆さまには、現役学生に対してより一層のご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

最後に、今後の法政大学学友会工体連OB会の益々のご発展とご活躍を祈念いたします。



小金井キャンパス開設50周年記念式典



2014年、小金井キャンパスは開設50周年の節目を迎え、さる11月1日(土)に同キャンパスにて、記念式典・講演会ならびに祝賀会が執り行われました。当日は、約300名もの皆様にご臨席を賜り、50周年の節目に相応しい盛大な記念行事を行うことができました。

工体連からも、非常に多くの皆様にご出席いただきとともに、大変温かいご支援をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

今回の記念行事を執り行うにあたり、「法政を卒業してよかった」と心から思っていたいただけるような心に

残る行事にしたい、そのような思いで実行委員一同、精一杯準備をまいりました。ご出席いただきました皆様いかがでしたでしょうか。

私事ではございますが、一卒業生として、また、一教員として、我が恩師ならびに我が教え子とともに、この日を祝えましたことを大変嬉しく思いますとともに、この50年という歴史の重さ、大切さを改めて感じた一日となりました。今後とも恩師に少しでも近づけるよう精進するとともに、この素晴らしい伝統を次の世代へと受け継いでいきたいと思っております。今、小金井キャンパスは、次の50年に向けて新た

な一歩を踏み出し、世界に通用する立派な卒業生を送り出すべく努力を続けております。同窓生の皆様には、今後も変わらぬご支援ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

記念行事の詳細につきましては、公式ホームページ <http://koganei50.ws.hosei.ac.jp/> をご覧ください。懐かしいキャンパスの写真も多数掲載しております。

50周年記念行事 実行委員
電気電子工学科 准教授 伊藤一之 (96年計測卒、工体連柔道部 部長)

法政大学工体連サッカー部OB会

名誉会長 大島 光雄 会長 伊藤 昇
幹事長 友野 雅之 監督 鷲尾 正孝

創部50周年式典 2014年11月22日開催
OB・現役約170名が集まりました!!



会員の皆様と工体連剣道部の活躍を応援します

法政大学工剣会

会長 古藤 正也 (1966年卒 土木)
副会長 角坂 好昭 (1968年卒 機械)



柔道部創立50周年記念式典祝賀会



梅津勝子八段による講演

9月27日(土)法政大学ホアソナードタワー 26階「スカイホール」に於いて、108名の出席を賜り「創立50周年記念式典祝賀会」を開催しました。

「式典の部」では、はじめに前部長岡泰道先生、4期松本勇先輩などこの10年間に逝去された6名の会員を偲び、謹んで黙とうをささげました。続いて、伊藤一之部長、佐藤光男OB会長の挨拶のあと、多数のご来賓の皆様を代表して(一社)法政大学校友会会長桑野秀光様、全日本理工科学生柔道連盟会長並木榮一様、法政大学工体連OB会会長松尾秀文様の3名より心温まるご祝辞を頂戴しました。そして、功労者表彰では柔道部の創成期から今日までの数々の功績を評し、5期曾根節法政工柔会相談役へ感謝状と記念品を贈呈しました。

また、基調講演では講道館女子八段 特定非営利活動法人全日本柔道普及会 理事長梅津勝子先生による女子柔道の黎明期から現在までの国内外における貴重なお話と写真を披露いただきました。

「祝賀会の部」のオープニングでは、小金井キャンパスや柔道部の50年の歩みを振り返るビデオが放映され、懐かしいシーンに学生時代の苦しくも楽しかった思い出が蘇りました。この好評だった映像は、後日DVDにしてOB全員に配布しました。

祝宴の最中は会場の窓のスクリーンを全開にして、眼下に靖国神社をはじめとする都会の素晴らしい景色も堪能しました。

また、アトラクションとして大学の花・神宮の花である応援団による応援歌披露は、学生時代の懐かしさと共に元気をもらえる素晴らしいものでした。

飯田橋駅前の「もつなべきむら屋」にて開催した二次会は、殆どのOB・学生の参加をいただき、50周年記念大会の成功と昔話に花が咲き、柔道部らしい優しさで元氣溢れる会となりました。

最後に、現役部員の確保が大変厳しい状況ですが、今後もOB会として出来る限りの学生への支援をして60年、70年… 100年と続くことを願っています。(文責 幹事長 石井 秀幸 '84)

少林寺拳法部創立45周年記念式典



10月12日(日)、小金井キャンパス東館体育館ならびに食堂におきまして、工体連少林寺拳法部45周年記念式典が開催されましたのでご報告させていただきます。

我が部は、1967年入学の山本先輩が小金井から当時の練習場であった靖国神社の相撲場まで通われ、その後、村田先輩、乾先輩と小金井(校舎の屋上が練習場だったと聞いています)で市ヶ谷キャンパスの先輩の指導を受けながら練習を始められたのが礎であり、それから45年脈々と後輩へと受け継がれているわけです。

さて当日ですが、今回は5の倍数の周年行事ということで、あえて工体連各部、少林寺拳法連盟、全日本・関東学生連盟等からの招待者・来賓はなく、内々での開催となりました(横断幕等も会社のプロッタで自作)。それでも25名のOB各位に参加いただきました。

体育館で米地監督の指導の下、現役の部員とともに、鎮魂行、基本練習、法形練習、運用法とさわやかな汗を流しました。各OBとも年齢を感じさせず、現役時代を彷彿とさせる身のこなしを見せていらっしゃいました。

会場を東館地下食堂に移し、記念式典として、歴代の部長先生、鈴木OB会(拳友会)

会長挨拶、現役幹部の模範演武の後、懐かしい面々と再会のひと時を、当時の写真スライドを上映しながら喜び合いました。

我が部は、一時期部員数がかなり減少し、幹部1名という時期もありましたが、ここ数年は部員数も小金井、市ヶ谷、多摩の各キャンパスでそれなりに充実しています。今後も工体連では大先輩であります本年50周年を迎えた各部に(追いつき追いつくことは永遠に不可能ですが)ご指導いただきながら、50周年、60周年を目指し、日々精進する団体として発展を続けることを誓った一日でした。(文責 松本俊一 '86)



空手部60年の伝統



11月22日 国立オリンピック記念青少年センター内のレセプション会場にて創部60周年記念式典を行いました。体育会空手部の創部80周年記念式典を3月に行ったので今回は小規模の開催になりましたが、約80名(工体連空手部OBは43名)の出席にて盛大な会になりました。ビデオ映像による60年の歴史の回顧、現役学生の紹介、OBの皆様からの懐かしい思い出話と学生への激励、そして最後は応援団によるデモンストレーションとエールにて終了しました。理工科系大学の大会前日に同じ会場内で開催し、大会に向けての士気を高めることも意図しており、学生にとっても心強い応援でした。OBの皆様には心からお礼申し上げます。大学の改革により平成20年に道場が解体されて以降、空手部の存在も大きく変わって来ましたが、部員数が減少し、稽古時間も短くなった現在、以前のような存在感はなくなりつつありますが、工体連空手部の精神と大会での「強い法政」の伝統はしっかりと継続されています。さらなる発展に向けて皆様のご支援をお願い致します。

(文責 監督 竹重高志 '80)

全国卒業生の集い 愛知大会 11/6~11/8



大会会長 杉本 仁至 空手部 '63



今年「法政大学全国卒業生の集い」を開催する愛知県は、信長・秀吉・家康の三英傑を輩出した武家文化の発祥の地です。また、自動車産業をはじめとしたものづくり産業の中核地でもあります。名古屋には、本丸御殿の復元が進む名古屋城、草薙の剣を御神体とする「熱田神宮」、尾張徳川家伝来の所蔵物を収蔵する「徳川美術館」、周辺地域には焼き物の地、常滑市・瀬戸市、自動車産業の豊田市、八丁味噌で知られる岡崎市など多様性に富む活気ある県です。

会場となる名古屋は交通の要所でもあります。皆様を迎える新幹線・高速道路・空港も整備されており、全国から卒業生にお越しいただくには便利なところでもあります。愛知大会でお集まりの皆様とお会いできることを楽しみにしております。

空手部総合優勝!



11月23日 オリンピック記念青少年センターにて「第27回全日本理工科系大学空手道選手権大会」が開催され、2年ぶりの総合優勝に輝きました。男女全6種目中5種目で優勝し、残り女子1種目も3位というほぼ完全優勝に値する成績を挙げることが出来ました。大会史上、これだけの成績を挙げたのは初めてであり、学生たちの頑張りから賛辞を送りたいと思います。団体組手の決勝戦の相手は昨年と同じ千葉工業大学であり、昨年の雪辱を果たす思いを秘めて戦いに臨みました。1-1で迎えた中堅の試合、相手の蹴りを避け損ねて左手を負傷、棄権負けによりピンチに陥りました。しかし、次の副将戦は絶対に勝つという全員の思いを背負った1年生選手が大健闘を見せ、2-2で大将戦を迎えました。最後はキャプテン竹迫君の圧倒的な強さにより、優勝を勝ち取ったのです。窮地に陥ってもあきらめず、絶対に負けないという「法政魂」が現れた大会でした。



[大会結果]	団体組手	優勝
	団体形	優勝
	男子個人組手	優勝 竹迫、2位 岡本、3位 酒井
	男子個人型	優勝 竹迫
	女子個人組手	優勝 加藤、3位 松本
	女子個人形	3位 松本

今回の大会は アメリカからマサチューセッツ工科大学が参加をし、大会後に小金井キャンパスにて交換稽古を行いました。文部科学省より「スーパーグローバル大学」に選定された法政大学にとって将来の国際化に大いに有意義な大会になりました。

近年、新入部員の獲得に苦勞し、部員数が減少している状況下、女子部員5名入部による部員増加と共にウーマンパワーにて活気が出てきた事も大会の好成績に繋がったと思います。

前日に行った創部60周年記念式典において空手部の発展を祝うと共に学生への激励をいただいたこと、また大会当日にも応援に駆けつけていただいたOBの先輩方には心よりお礼を申し上げます。今年も大会連覇と部員数の増加によりさらなる発展を目指して稽古に励みますのでOBの皆様にはより一層のご指導とご支援をお願い致します。

(文責 監督 竹重高志 '80)

お知らせ

◆工体連お祭り

6月13日(土) 17:00~19:00
小金井キャンパス東館食堂

◆ボクシング部創立50周年祝賀会

11月21日(土) 13:00~ ポアソナード・タワー 26階 スタッフクラブ

◆ソフトテニス部創立50周年祝賀会

11月21日(土) 16:00~18:00
小金井キャンパス東館食堂

◆工体連創立50周年記念式典

12月6日(日) 場所未定



柔道部 創立50周年記念式典祝賀会
平成26年9月27日 法政大学ポアソナードタワー 26階 スカイホール

お陰さまで、50周年 法政工柔会

会長 佐藤 光男 (経営79)

事務局: 〒272-0811 市川市北方町4-2063
(有) アイズ建設 TEL. 047-339-9088

法政大学工体連水泳部の活躍を応援します



現役の活動/活躍はホームページをご覧ください

<http://seahorse.mods.jp/>

法政大学工体連水泳部OB会(工泳会) 工泳会 会長 藤田 善博 小金井市梶野町3-7-2(工体連水泳部内)